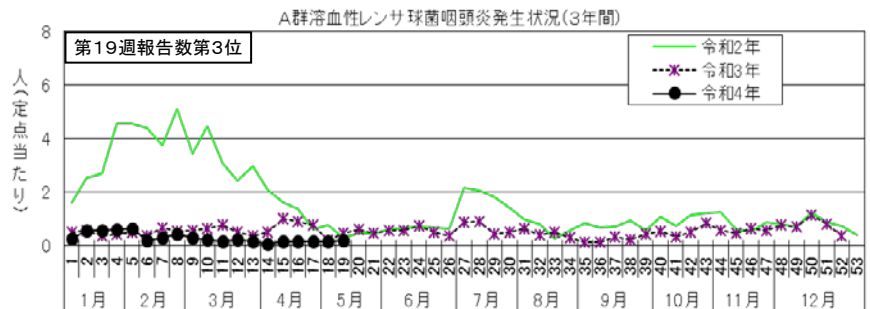
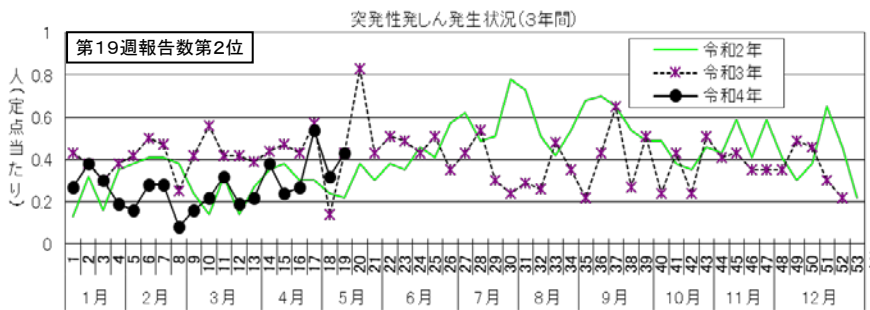
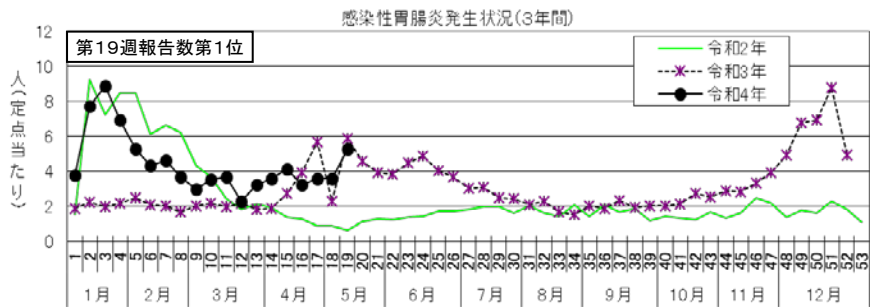


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和4年5月9日（月）～令和4年5月15日（日）〔令和4年第19週〕の感染症発生状況

第19週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 突発性発しん 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は5.30人と前週(3.03人)から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
 突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.43人と前週(0.32人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.19人と前週(0.05人)から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



新型コロナウイルス感染症～報告数が5週間ぶりに増加～

川崎市における令和4年第19週(5月9日～5月15日)の新型コロナウイルス感染症の報告数は3741件と、5週間ぶりに増加に転じました。

現在流行の主流であるオミクロン株のBA.2系統は、今年の3月頃主流であったBA.1系統と比べ感染力が強いものの、ワクチンの有効性は同程度とされています。国内で使用されているmRNAワクチンの3回接種は有効性が高く、重症化率を大きく下げるだけでなく、累積罹患率も5割以下まで低下させると海外のデータで示されています。

感染の再拡大を防止するためにも、すでに2回接種をされている方は是非3回目の接種を検討しましょう。

